

## 議案第12号 平成29年度倉吉市一般会計予算

### 2款

#### ○1項7目「企画政策推進」 4,054(千円)

##### 8節 市民提案型協働プロジェクト講師謝金等 147(447)千円

事業の目的・意図は、「倉吉市未来いきいき総合戦略の推進のため、住民が地域の未来を主体的に考え、自ら行動に移すことをめざし、地域と行政が協働する地域づくりを推進する」とあります。この事業は、地方創生市民対話集会を受けて企画されたと認識していますが、昨年の実績はどうなっているのですか。また、平成29年度事業についてもう少し詳しく説明していただけますか。

##### 13節 青少年の森管理委託料 401(千円)

この事業は、一昨年まではシルバー人材センターに除草を2回委託するとともに地域の方などと一緒に青少年の森の活用を検討したり整備するものであったと思います。昨年度から地域の方に委託ということになっているようですが、内容的には変わりがあるのですか。また、昨年の実績についても教えて下さい。

#### ○1項7目「総合交通対策(企画)」 112,844(千円)

予算のうち主なものは19節で「各種団体等への参画により、公共交通機関の利便性向上、維持確保のための活動を行う。」もので、乗り合いバスへの運行対策補助金107,854(千円)が大きいものです。公共交通を維持していくためには必要なことかと思えます。私は、金額は少ないですが、同じく19節の県鉄道利用促進協議会負担金90(千円)についてお尋ねしたいと思えます。バス同様鉄道も公共機関として大切なものです。鉄道の利便性、利用促進を図るため県鉄道利用促進協議会で話し合いをされると思えますが、開催時期・協議内容などについて教えて下さい。

#### ○1項7目「元気のでる地域づくり支援」 19,827(千円)

事業の目的・意図は、「住民が参画し、地域の活性化を図るため、各地区の特色有る取組及び安全で住みよい地域社会の実現のため、地区振興協議会へそれぞれ1,524千円を上限として交付金を交付するもの」とあります。住民が主体的に地域活性化に取り組む事業として大切だと考えています。お聞きしますが、昨年度の実績や主な事業、事業の振り返りもしておられると思えますが、気づかれたことなど有りましたら教えて下さい。

#### 4 款

##### ○1 項 1 目「動物愛護」 2, 200 (千円)

事業の目的・意図は「傷病動物の治療や飼い主不明の犬・猫などの保護、動物愛護の啓発などを実施する団体等に補助金を交付するもの。野良猫避妊、去勢手術の費用の一部を助成し繁殖を抑制し生活環境の保全を図るもの」とあります。

① 予算額の財源内訳のうち、県からの補助金が60万円、倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金が160万円となっています。昨日、市のホームページにも「動物愛護事業へのご寄付(ふるさと納税)のお願い」ということで載っていました。基金の予算160万円のうち、動物愛護を目的としたふるさと納税の金額と件数はどのくらいあるのですか。

② 歳出のうち、19節の「動物愛護活動事業費補助金」として90万円が予算として計上してあります。この補助金はどのようなことに使われているのですか。

③ また、同じく「野良猫避妊、去勢手術費補助金」として10,000円で120頭分が予算化されています。野良猫のためにも地域環境のためにもよいことだと思います。こちらホームページを見ていましたら、不妊去勢手術実績として平成26年度27匹、平成27年度92匹となっています。平成28年度の実績は現時点ではどうなっていますか、また、去勢手術への補助ということですが、実際には去勢手術費用はどのくらいかかるのでしょうか。もし分かれば教えて下さい。

#### 4 款

##### ○2 項 2 目「廃棄物減量等推進」 45, 898 (千円)

① 事業の目的・意図は、「ゴミの減量及びリサイクルを図るため分別収集等を推進し、良好な生活環境の向上を図るもの。ゴミ減量推進員を設置し、ゴミの分別減量をはかるもの。」とあります。

大量に出るごみが社会問題となっています。ごみの中には、紙、かん、びん、布きれなど、資源として再利用できるものがたくさん含まれています。これらを回収し、再利用・再資源化することで、ごみを大幅に減らすことができ、限りある資源を繰り返し利用する「循環型社会」への転換にもつながります。

さて、8節 資源ごみ回収報奨金 210万円とありますが、これは具体的にはどのようなことなのでしょう、教えて下さい。

## 7款

### ○1項3目「地域資源観光活用」 3,906(千円)

事業の目的・意図は、「地域資源を活かし、震災復興に向けた観光地としてのイメージ回復の取組を行うもの」とあります。

○委託料 1日国鉄倉吉線廃線跡トンネル点検業務 2,906(千円)

①廃線跡トレッキングが観光商品として人気であったと思いますが、震災前の状況を教えて下さい。

②トンネル点検業務に290万6千円が予算として付いていますが、トンネルの安全を確認するだけならそんなにかからないと思います。どんな点検内容なのか。

## 7款

### ○1項3目「観光関連団体助成」 9,858(47,971千円)

事業の目的・意図は、「各種観光関連団体との連携により、効果的かつ効率的な情報発信やプロモーション、コンベンション事業を展開し、倉吉の魅力や情報を発信していくことにより観光客の誘客をはかるもの」とあります。

①鳥取中部ふるさと広域連合負担金(DMO)に9,858(千円)予算をつけているわけですが、中部地区を中心とした広域的な観光の核とするため「鳥取中部観光推進機構」を作られたと認識しております。市民の皆さんには、「DMO」という言葉に馴染みがないかとも思います。このことについての経過や目的等について簡単に説明をお願いします。

②事業内容の中に、「観光商品造成支援」「絵画・国内プロモーション」「観光マーケティング」といったことが載っていますが、具体的にはどのようなことなのか。

**9款 1項5目「総合防災訓練」 397(千円)**

事業の目的・意図は、「災害に強いまちづくりを推進するため、総合防災訓練を開催し、住民の防災意識の普及啓発、災害時における防災関係機関、団体等との連携体制の確認等を行うもの」とあります。

①鳥取中部地震を体験した市民にとって関心の強い事業です。

「実施時期は10月頃、実施予定場所は西郷地区」となっていますが、もう少し具体的に説明をお願いします。

②西郷地区だけでなく市全体にとって大切な事業です。予算がつく付かないにかかわらず、全市民が関わりを持てるような働きかけ、この訓練にあわせて各防災組織が何らかのアクションを起こすようなことは出来ないのでしょうか。

例えば、毎年10月21日を「倉吉市防災の日」と定め、防災訓練などを通して市民の防災意識を高めていくことが大切だと考えます。自主防災組織、自治公民館、おおもとなる自治連などと相談して、それぞれが関わりを持つような動きは出来ないのでしょうか。

③鳥取中部地震を教訓として防災まちづくりを進めていくこと、教訓を風化させることなくPDCAサイクルで着実なものとしていくことが大切です。この防災訓練を軸として市民の防災意識の高揚や具体的な行動をとっていったらよいと考えますが、如何お考えでしょうか。